

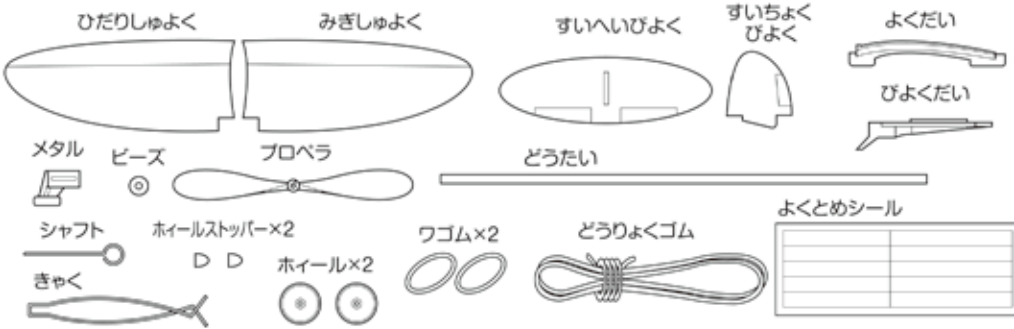
# TA-06



# ゴム動力飛行機(丸翼)の作り方

## はじめに

- 部品をよくたしかめましょう
- 図をよく見て、じゆんじよよく組み立てましょう



## ⚠️ 組み立てる時の注意 (ちゅうい)

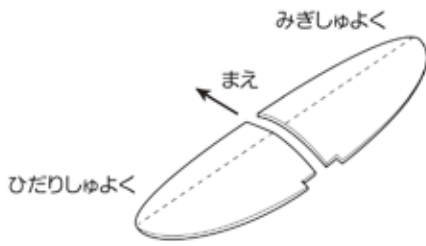
保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。



## 1 しゅよくのキャンバーつけ。

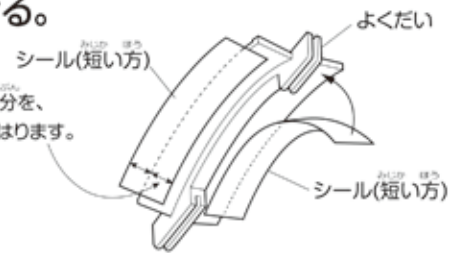
おり目のすじを、かるく曲げてくせをつけます。



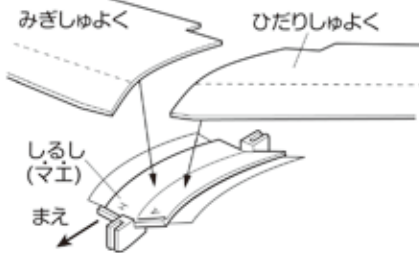
## 2 しゅよくをよくだいに付ける。

図をよく見て、よくだいにシール(短い方)をはります。そのとき、シールのノリの部分を、あまりさわらないこと。

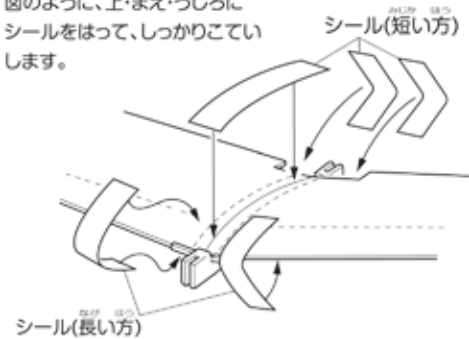
シールの半分を、よくだいにはります。



よくだいのまえと、しゅよくのまえを合わせて、よくだいのまん中にピッタリ合わせてはります。

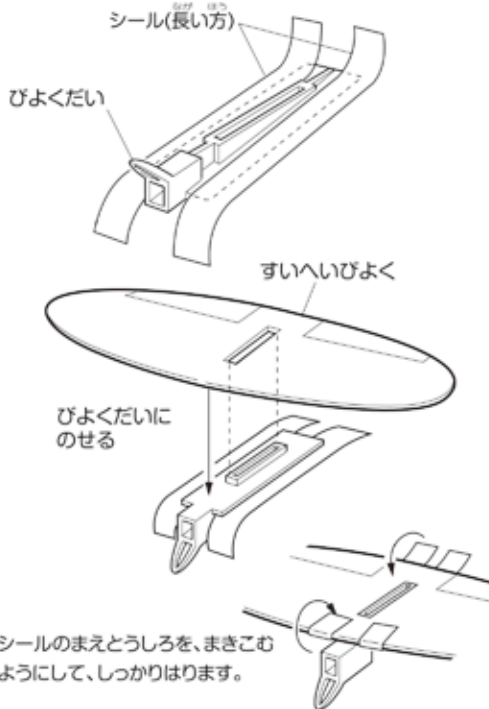


図のように、上・まえ・うしろにシールをはって、しっかりこていします。



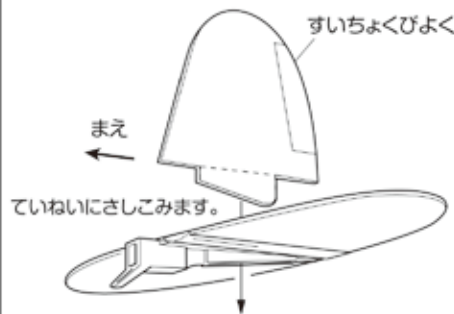
## 3 すいへいびよくをつくる。

図をよく見て、びよくだいにシール(長い方)をはります。そのとき、シールのノリの部分を、あまりさわらないこと。

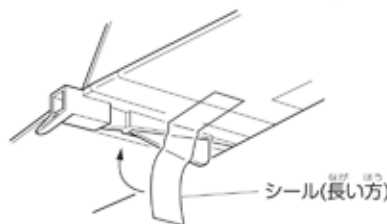


シールのまえとうしろを、まきこむようにして、しっかりはります。

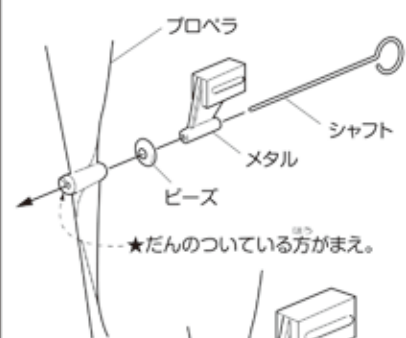
## 4 すいちよくびよくをつける。



下に出た部分を、シールでとめます。



## 5 プロペラユニットをつくる。



★だんのついている方がまえ。



シャフトのさきをベンチで直角に曲げる。



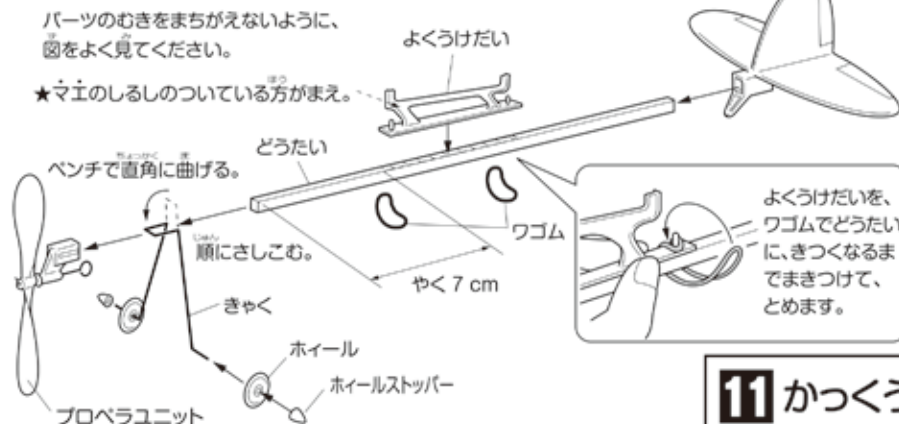
※ベンチを使うときは、ケガをしないようにちゅういしましょう。

## 6 どうたいをつくる。

★どうたいがふとくさしこみすらいときは、ペンチなどで少しつぶしてください。ぎゃくにゆるいときは、セロハンテープでとめてください。

パーツのむきをまちがえないように、図をよく見てください。

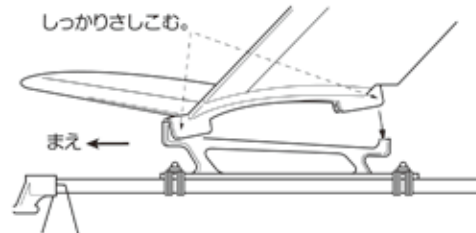
★マスのしるしのついている方がまえ。



## 7 しゅよくをとりつける。

しゅよくのむきをまちがえないように、図をよく見てください。

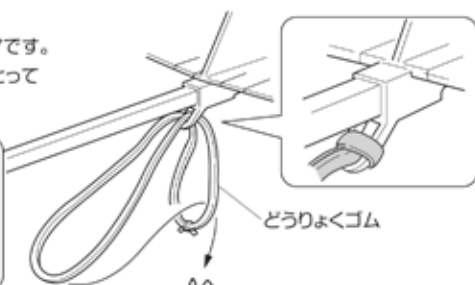
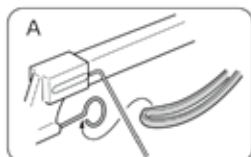
★しゅよくは、ぶつかったりするとショックで、はずれるようになっていきますので、いつも正しくさしこんでおいてください。



## 8 どうりよくゴムをとりつける。

どうりよくゴムを、長さ50cmにカットし、りょうはしをむすんで、輪ゴムにします。

★のこったゴムは、スベアです。切れたときのために、とっておきましょう。



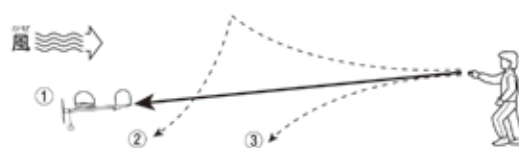
## 9 じゅうしんをとる。

図のようにしゅよくのおり線がぶんを親指と人差し指でささえ、つり合うようにする。



## 11 かつこうテストをする。(バランスをみる)

風のよわいときをえらんで、水平よりややしたむきに風に向かって軽くおしだすように手投げします。大切なバランスですから、何回かくり返してテストしてください。



- ①は良い。
- ②はまえが軽いので、しゅよくを少しうしろにずらしします。
- ③はまえが重いので、しゅよくを少しまえにずらしします。

※すいへいびよくがくるっていても、②③のようになりまますのでちゅういしてください。

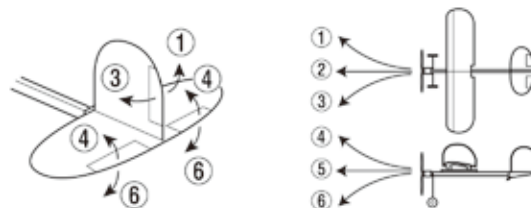
## 12 とばそう。

はじめは、プロペラを矢印の方へ100回くらいまいてとばします。風に向かって、水平に押し出すように手投げします。よくとんだらまき数を徐々に増やして、200回くらいまでまきます。



びよくによるひこう調整のしかた

- ①の方向に少し曲げると右旋回します。
- ③の方向に少し曲げると左旋回します。
- ④の方向に左右のエレベーターを少し曲げると上昇します。
- ⑥の方向に左右のエレベーターを少し曲げると下降します。

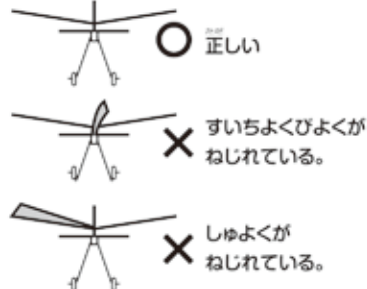


## 10 きたいのねじれをみる。

(きたいをしょうめんから見て)



かく翼のねじれがないか調べましょう。ねじれているばあいは、ほんたいがわに少しひねって直します。また、とばす前にぶひんの取り付けを確認しましょう。



水性のペイント、マーカーなどを使い、自由なデザインで塗ってみよう。

## ★カラーリングをしよう。

※ちゅうい

- 1...油性のペイント、マーカーは使わないでください。翼が溶けてしまいます。
- 2...つばさ全面に塗ると機体が重くなり、飛びが悪くなります。



## ★しゅうり

- ★ぶつかったりしてシャフトが曲がったときは、まっすぐに直します。
- ★つばさが少しやぶれたときは、セロハンテープをはって直します。

## ！飛ばすときのちゅうい 保護者の方へ必ずお読みください。

- 小さな公園や広場、また人の多いところではキケンです。広い場所で、まわりに十分注意して飛ばしましょう。
- 飛行機を取りに、道に飛び出したりしないように注意してください。
- 風の強いときは、飛ばさないようにしましょう。風が強いと飛びにくいだけでなく、こわれたり、どこかになくしたりします。
- 人や動物に向かって飛ばさないでください。
- 道路や線路の近くで飛ばさないこと、とくに高圧線の近くはキケンです。
- 小さなお子様遊ぶときは、大人の方が監督するようお願いいたします。
- 飛行機を高温になるところ(車の中など)には、置かないでください。